



ふれあいネットワーク

南アルプス市社会福祉協議会

2009.2.1発行

vol.

11

冬期号

# 社協だより



地域の宝 芦安のこどもたち

特集

ずっと暮らしたいまち 南アルプス市  
合併後…芦安地区は今「変わりつつあるみんなの意識」  
生涯現役ではつらつと…老人クラブ

# まち 南アルプス市

みなさまからいただいた社協会費と共同募金は  
さまざまな福祉事業にあてられています

今年度も多くの市民の皆様のご協力により、社協会費ならびに共同募金をいただいております。誠にありがとうございます。  
社会福祉協議会では、これらのお金を住民が互いに助け合う「相互扶助」の理念のもと、地域福祉活動の財源として使わせていただいております。

## 子育てサロン・いきいきサロン



子育てサロンとは、核家族化が進み、地域住民の関係が希薄なものになるなど、子育てを支えていたつながりが失われつつある現在、子育て中の親子が気軽に集い、仲間づくりなどができる場として展開しています。同様に高齢者を中心としたサロンにも助成を行っています。

## 各地の地区いっくい祭り

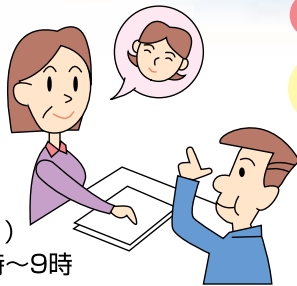


## 防災・減災のまちづくり事業



## 心配ごと相談所開設

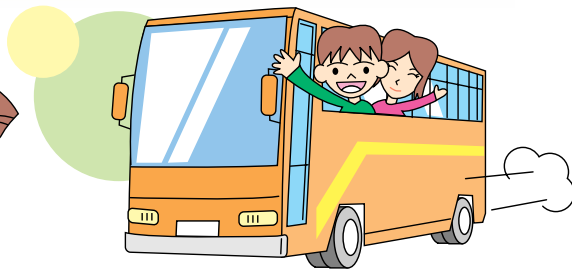
- 毎月第1～第4水曜日
- 午後1:30～3:30
- 市役所若草支所



## 結婚相談所開設

- 毎月1日（1月1日は除く）
- 午前9時～3時 午後7時～9時
- 楡形社会福祉会館

## ひとり親家庭レクリエーション



ボランティア活動への支援、助成、研修

社協だより・ボランティア情報誌の発行

在宅障害者新春お楽しみ会

地域福祉活動計画の策定



# ずっと暮らしたい



平成20年度社協会費へのご協力ありがとうございました

(平成21年1月14日現在)

地区	金額
八田	1,838,000円
白根	4,758,000円
芦安	134,000円
若草	2,519,000円
櫛形	4,827,500円
甲西	2,971,300円
合計	17,047,800円

●社会福祉協議会では、貴重な財源を有効に地域福祉に活用するため、「第2次あったか色のまちづくり計画」の策定を進めています。各地区、分野から次の方々を策定委員に委嘱されました。

## 地域福祉活動策定委員 (順不同・敬称略)

八田	三枝 洋 (やごしま防災助け合い隊代表)
八田	清水 武秀 (上高砂地区区長)
白根	中込 めぐみ (ボランティア関係)
白根	小野 友宏 (第一次策定委員長)
白根	神村 初美 (外国人への支援)
芦安	澤登 一浩 (小学校教諭)
芦安	秋山 榮男 (民生児童委員)
若草	戸栗 すず子 (市福祉計画策定委員長)
若草	内田 徳明 (市老連会長)
櫛形	石川 益恵 (心配事相談員)
櫛形	安井 日出夫 (民生児童委員会会長)
甲西	新津 齊 (障害者関係)
甲西	加賀美 みのり (ボランティア関係)
甲西	馬目 武浩 (子育て関係)
行政	野中 優子 (地域包括支援センター)
行政	石川 珠美 (市福祉計画担当)

## 共同募金へのご協力ありがとうございました

(平成21年1月14日現在)

募金種別	金額	説明
戸別募金	9,559,250円	区長さん組長さんのご協力で、市内の各世帯へお願いしたものです。
街頭募金	127,817円	ボランティアさんのご協力を得て、店頭や社協のイベント等で行った募金です。
大口募金	2,433,341円	民生委員さんにご協力をいただき、市内の企業・団体からいただいた募金です。
職域募金	835,156円	事業所・職場等で行われる自発的な募金です。
学校募金	117,086円	市内の小・中学校の児童会、生徒会を通じ、自発的な募金をお願いしています。
合計	13,072,650円	

**皆様から寄せられた募金**

↓

山梨県共同募金会  
南アルプス市支会

↓

山梨県共同募金会

↓

市内福祉施設・団体      広域の福祉

**Q 集められた募金の行き先は?**

**A** 南アルプス市内からいただいた共同募金は、県共同募金会に全額一旦送金され、約70%が市内の配分対象となる福祉活動や施設・団体に配分されます。



福祉施設にAEDの設置



芦安地区ゲートボール場にベンチの設置

**Q 共同募金の目標額は、どうして決まっていますか?**

**A** 共同募金の配分は、福祉団体や施設から申請を受け付けます。その申請内容について、その必要性・緊急性などを考慮し、配分計画を立て、その計画額を目標額としています。

南アルプス市の平成20年度の目標額は13,763,000円です。



夏休み福祉標語  
福祉ポスターの募集

# 「りつつあるみんなの意識」

芦安地区は、人口426人。その中でも高齢者が30%（12月現在）という地域です。合併当初の住民は「芦安地区はこんな小さな地区で、しかも他の地区から遠い理由から取り残されるのではないか？」という不安でいっぱいでした。

合併から5年が経ち、・・・「小さな地域だから他人まかせでない、小さな地域だからこそみんなで盛り上げよう」という意識に変わりつつあります。

子どもから高齢者まで手を取り合い協力し合うこと、つまり地域の絆が大事であるという意識を持ち始めました。今、芦安地区は、小さなパズルのピースを合わせながら自分たちで自分たちの絵（住民自立プラン）をつくっています。



南アルプス市社会福祉協議会は、地域福祉活動計画「あったか色のまちづくり計画」策定のために合併直後から6地区での住民座談会の開催などを行い「新しいまち南アルプス市」への声を伺ってきました。その中のひとつ、芦安地区では、多くの住民から「小さな地域は取り残されてしまう・・・」という不安の声が聞こえてきました。社会福祉協議会では、そんな声に応えて、「ちっくい祭り」「福祉運動会」「防災への取り組み」など様々な事業をきっかけに小さな地域の良さを活かした、あったか色の地域づくりに取り組んできました。

## 芦安地区の取り組み（活動アルバム）

### 福祉のこころを学ぼう



ボランティアと一緒に、お年寄りに配るおやつ作りに挑戦

### 災害や犯罪に強いまちづくり



災害時の危険箇所、またマップを見ながら消火栓等の位置を確認

### 地域住民の交流を広げよう、住民主体の地域福祉を進めよう



地域の方の協力でもち米づくりに挑戦



保育園、小学校、地区の体育祭、社協と「芦安ふれあい運動会」を合同開催



小学生と老人クラブと一緒に花植え

### 小学校文化発表会、ちっくい祭り同時開催

ボランティア、老人クラブ、芦安ファンクラブ等各種団体が協力し、まつりを開催しました。小学生は、おもち屋さん、お楽しみコーナー、パネルシアターで盛り上げました。



中学生による夜叉神太鼓



各種団体による模擬店の出店

# 合併後…芦安地区は今「変わ

芦安地区のみなさんに伺ってみました



学校行事やお祭りが減り、生徒数も減り廃校になるかと不安でした。ちっくいまつりに参加しておまつりを盛り上げることができて、芦安地区以外からもお客さんが来てくれたのはうれしかったです。

高齢者を大事にし、地域の活性化に協力していくことで、「芦安」を誇りに思える地域にしていきたいです。

3月までに私たち芦安中学校のホームページが出来上がるのでみなさん見てください。



芦安中学校3年生

左 三井大貴さん、中央 三井まみさん、右 矢崎茜さん



芦安支所老人クラブ連合会  
会長 森本今朝盛さん

合併は、他の地域に取り残されるかと不安でした。また、芦安地区には医療機関がないことや、人口の減など独自の課題がありますが、老人クラブとして色々な行事に参加し、子ども達と友達になれたのはうれしかったです。

高齢者としても地域の活性化に協力していき、芦安地区だからこそ老若男女で助け合ってできることから始めていきたいです。



千葉県から引っ越してきたときは、皆さんから声をかけていただき、優しい地域だなと思いました。今ではいろんな人と知り合い、芦安が大好きになりました。今後は、今まで以上におやつボランティアとして色々な行事に参加して、自分たちで地域を盛り上げたいと思います。



芦安おやつボランティア  
代表 秋本英子さん



就任当時から、ホタルを育てることなど自然と子どもたち、学校と地域とを結びつけた教育を目指してきました。ちっくいまつりはその一つで、自分たちでおまつりを盛り上げ、子どもたちにとってよい経験ができたと思います。

今後は、山と里の関係を大事にしなが、学校も今以上に地域との交流を図り、「地域の中での学校、自然の中での学校、高齢者が子どもを育てる」スタイルを築けるようにしていきたいです。



芦安小学校  
校長 近藤陽一先生



社会福祉協議会は地域の方からの意見を大事にする中で、色々な方々を結びつける役割を担ってきました。これからも、「顔」と「顔」が見える関係を大事にしなが、南アルプス市のすべての地域が「ずっと暮らしたいまち」になるよう努力していきます。

# つと…老人クラブ

## の紹介

### 保育園児との交流



### ちっくい祭りで昔の遊びを伝承



### 南アルプス市老人クラブ連合会 内田会長にお聞きしました



老人クラブに入会し、6年が経ちます。会員の皆さんの交流、出会いの機会を多く、健康を第一に明るい会の運営を考えて参りました。

しかし、クラブ会員が減少している現状は南アルプス市ばかりでなく、全国的傾向に

あります。いかに魅力があり楽しい老人クラブにするのが今後の課題かと思えます。

一人でも多くの方が楽しいと思える老人クラブを築きあげるよう努力して参ります。

## 老人クラブとは

老人クラブは、戦後まもない昭和25年頃、社会と経済の混乱、家族制度の変革などの状況の中で、高齢者自らが相集い新たな役割を求めて誕生した自主組織です。

現在では、高齢者の社会参加や生きがい対策の推進組織として位置づけられています。地域の高齢者が相互に支えあい、楽しく集い、社会貢献する組織です。



## 老人クラブの現状

南アルプス市老人クラブ連合会は6支所の連合会110の単位クラブで構成されており会員は5,933名です。活動内容も様々で地元だけでなく、広く市内または県内の会員と交流を図っています。

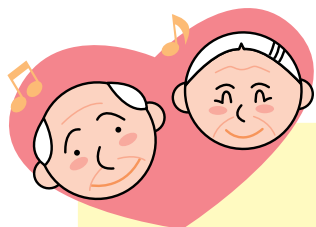
最近では、老人クラブは「入ると役員を押しつけられそう」「いろいろな事を強制されそう」などのイメージや「友達がたくさんいるから入らなくてもいい」「サロンのの方が楽しい」などの理由から会員が減少し、解散してしまった地区もあります。

その反面、地域はもちろん市内の仲間との交流は大切だと活動を再開した地区もあります。

一人ではできないことも、仲間が集まればできることもあります。高齢者だからこそ持っている経験や知識を活かした活動が各地区で行われています。

特集

# 生涯現役ではつら



## 南アルプス市老人クラブの活動

グランドゴルフ大会



奉仕活動 花植え



小中学生の見守り活動



福祉運動会でハッスル



### 老人クラブよりお知らせ

(老人クラブ主催事業)

#### ◆三遊亭小遊三独演会◆

- ・日時 平成21年2月13日(金)  
午後1時30分～3時30分
- ・会場 櫛形生涯学習センターあやめホール
- ・対象 南アルプス市老人クラブ連合会会員

#### ◆第6回南アルプス市老人クラブ連合会文化祭◆

- ・日時 (作品展示)  
平成21年2月25日(水)～27日(金)  
(芸能発表)  
平成21年2月26日(木) 13:30～16:00
- ・会場 櫛形生涯学習センターあやめホール

### ～わきあいあいと とても楽しい老人クラブ～

写真のように「老人クラブ」はとても楽しいことが多い組織です。この他にも囲碁大会、ゲートボール大会、講演会、友愛訪問、研修旅行など多彩な活動を行い、生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりを推進しています。

また、老人クラブよりも親しみやすい名前をという声から、白根では「げんき会白根」櫛形では「あやめ生き生きクラブ」という名称に変更されています。

#### ～入って良かった老人クラブ～

##### 会員の声

みんなで温泉に行ったり、グランドゴルフをしたり、楽しみが増えました。また、いろいろの行事に参加できることがうれしいです。

##### 入会方法

入会を希望される方は、お住まいの地区の役員さんにお申し込みください。



みなさん、こんにちは！  
 寒さの厳しい時期となりましたがいかがお過ごしでしょうか？  
 さて今回は、慈恵寮の取り組みの一つである手芸品製作をご紹介します。  
 慈恵寮では年間を通して、編み物による手芸品製作を行っています。ご寄付でいただいた毛糸を手分けして巻くところから始まり、次に糸をよせる作業を行います。一本の太い糸を完成させ、そこからやっと編む作業に入ります。製作期間が数ヶ月にわたる作品もあり、完成した時には喜びもひとしおです。  
 一年間の作品制作の成果発表をおこなう場として、毎年「いきいきねんりんピック」へ作品の出版を行っています。今年も出版を予定しておりますので、ぜひ一度慈恵寮のお店へお越しください。

## 慈恵寮日記

- 若草生涯学習センター指定管理者シャンプレイ 様……………16,837円  
 (うち岩手・宮城内陸地震へ 11,837円)  
 男性ボランティアG 様 (岩手・宮城内陸地震へ) …… 9,164円  
 中込 千枝子 様…………… 7,300円  
 マックスバリュ 東海株式会社 様……………車いす 3台  
 百々八区二桁会 様…………… 10,000円  
 体育協会社交ダンス部 様…………… 70,000円  
 ゆうかり窯 様…………… 5,000円  
 芦安小学校1・2年児童会 様……………10,000円  
 白根ラベンダーの会 様…………… 120,000円  
 飯野 妙善寺 様…………… 30,000円  
 リフォームボランティアさくらちゃん 様…………… 70,000円  
 (社) 南湖報徳社 様…………… 100,000円  
 東京都 小澤 文二 様 (慈恵寮へ) …… 100,000円  
 ボランティアグループきさらぎ会 様……………10,000円  
 (有) イイノステンレス 様……………30,000円  
 橿形環境とリサイクルの会 様……………50,000円  
 トイレットペーパー600ロール  
 沢登婦人学級 サークルすゞらん 様……………15,050円  
 関東自動車工業労働組合 様…………… 100,000円  
 はくばく(株) 研究センター 様…………… うどん840食  
 深沢 庄一郎 様 (藤田ふれあいセンターへ) …… マッサージ機1台  
 村山 明峰 様 (デイゆうかりへ) …… 絵画10号 3枚  
 増穂町 市川繊維(有) 様 (慈恵寮へ) …… 毛糸100kg  
 依田 善清 様 (慈恵寮へ) …… もち米20kg  
 野田 和彦 様 (慈恵寮へ) …… ぶどう、柿各6箱  
 橿形地区明るい社会づくり協議会 様……………50,000円  
 ホリデー農園 様…………… じゃがいも100kg

ご寄付いただいた金品は  
 福祉事業に  
 役立たせていただきます。

(平成20年6月1日～  
 12月31日まで)

善意によるご寄付  
 ありがとうございます  
 ございました



関東自動車工業労働組合 様



橿形地区明るい社会づくり協議会 様

### ご意見感想をお寄せください

年に2回(2月・7月)発行している社協だよりについて、読者の皆様よりご意見を頂戴したいと思います。  
 どのようなご意見でもかまいませんので、下記の宛先までお願いいたします。  
 〒400-0337 南アルプス市寺部659  
 南アルプス市社会福祉協議会「社協だより 意見・感想係」  
 e-mailでも受付いたします。  
 info@minami-alpsshakyo.or.jp

### 【発行】

社会福祉法人 南アルプス市社会福祉協議会  
 〒400-0337 山梨県南アルプス市寺部659  
 TEL055-283-8711(代) FAX055-283-4167  
 ホームページ <http://www.minami-alpsshakyo.or.jp/>



この広報誌には赤い羽根共同募金の配分金と社協会費が充てられています。